

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.0)

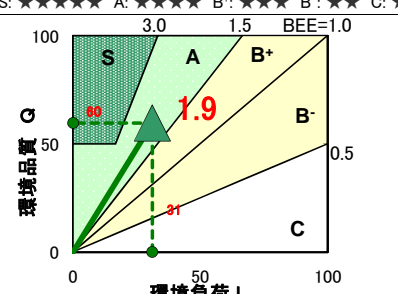
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	プレミスト千早中央公園	階数	地上15F
建設地	福岡市東区千早4丁目3010-2	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	660 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年9月 予定	評価の実施日	2015年12月10日
敷地面積	4,497 m <sup>2</sup>	作成者	大岩 大志
建築面積	1,875 m <sup>2</sup>	確認日	2015年12月10日
延床面積	21,618 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.9**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★



### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

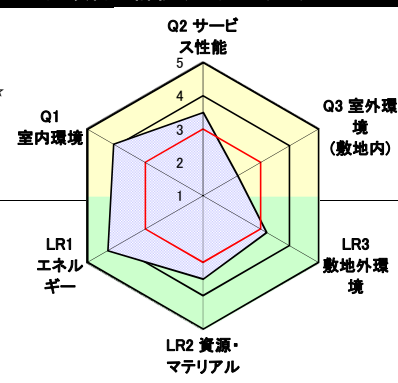
標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

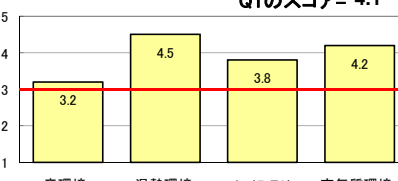


### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.3**

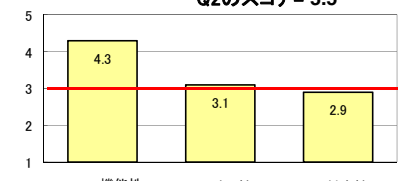
#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 4.1



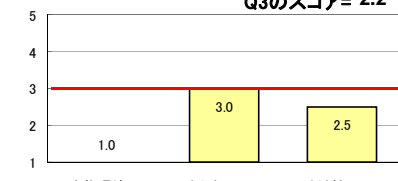
#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5



#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

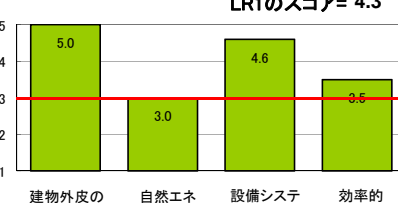


### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.7**

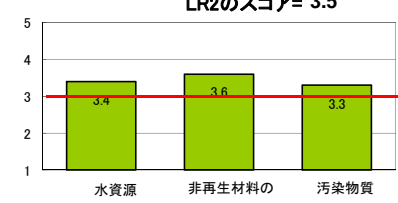
#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.3



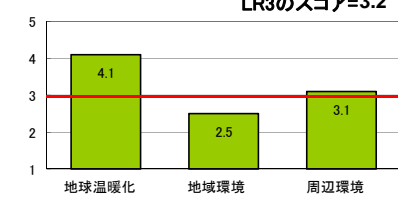
#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5



#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2



3 設計上の配慮事項	
<p><b>総合</b></p> <p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。</p> <p>千早駅前の区画整理地区において、高層化にふさわしく、ガラスと素材感のあるタイルを用いたシンプルな形状で構成した。南側の中央公園、や国道方面からの景観を配慮し、凹凸のある表層デザインにてボリューム感を軽減する配慮を意図した。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>周辺環境を事前に調査し、良好な住環境を実現できる仕様としている。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>適正な住空間の構成、快適な生活に寄与する住宅サービスや施設を配置した。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>熱負荷を軽減する断熱仕様を始め、高効率な設備システムを導入している。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>現時点で再利用を行いやすい素材については積極的に採用する。</p> <p>又、一部化学物質を含まない建材を意識して選定を行</p>
	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>周辺道路に対し、緑地を確保し、建物に対してのバッファゾーンを確保した。</p>
	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>社会的な環境基準値を満たすことはもちろん、高い空地率を確保する。</p> <p>駐車、駐輪台数の確保やレンタサイクル等の利用促進</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される